



重要文化財『賀茂祢宜神主系図』の デジタルアーカイブ化・データベース化と その公開について

山本宗尚

一般財団法人賀茂県主同族会



1

上賀茂神社の社家と同族会

- ▶ 社家とは、神社に奉祀する世襲の家柄のこと。
- ▶ 上賀茂社では古来「賀茂県主」を名乗る一族が奉祀してきた。
 - 幕末頃は約150家、300名で一社の社家としては日本最大規模。
 - 実父の持つ十六流（鎌倉時代中期から分岐した門流）の漢字を通字とする
氏・平・清・能・久・俊・直・成・重・幸・季・保・宗・弘・顕・経
 - あまりに同じ苗字が多いため、識別を容易にするため異名（いわゆる屋号）が付く
- ▶ しかし、明治四年（1871）の太政官布によって社家の世襲を止められた。現在は、賀茂県主の後裔のことを上賀茂社の社家と言う。
- ▶ 「賀茂県主同族会」は後裔の親睦および相互扶助を計る団体で、神社とは別組織。
 - 祖先崇敬（毎年祖先祭を催行）
 - 『賀茂祢宜神主系図』（国指定重文）と関係資料の保存・研究・公開
 - 上賀茂社の祭典・行事への奉仕・奉賛
 - 賀茂競馬（京都市民俗文化財）の伝承と後継者育成
 - 上賀茂の町並み（伝建地区）保存・環境保全（境内・神山）活動

3

自己紹介

賀茂別雷神社（上賀茂神社）社家に生まれる。名古屋大学大学院環境学研究科博士課程（後期課程）修了。博士（理学）。現在、京都大学大学院理学研究科特定研究員・岩戸落葉神社権祢宜・一般財団法人賀茂県主同族会理事。専門は衛星気象学。上賀茂神社の歴史研究も行う。平成10年より上賀茂神社競馬会神事および賀茂祭（葵祭）で乗尻（騎手）として奉仕しているほか、蹴鞠保存会会員として活動。

主要論文

- 地下官人賀茂季鷹と賀茂の氏人たち（『賀茂文化』、2007年）
- 賀茂競馬図屏風に関する一考察（『京都産業大学日本文化研究所紀要』、2010年）
- 三手文庫書籍に関する覚書（『京都産業大学日本文化研究所紀要』、2012年）
- 上賀茂神社競馬会神事の儀式次第の変遷（『賀茂信仰の歴史と文化』第2期神社史料研究会叢書、思文閣出版、近刊）



三手文庫

- ▶ 上賀茂神社の校倉に収められている今井似閑奉納書籍を指すのが通用であるが、本来は、近世に上賀茂社家で運営された図書館のこと。今井似閑奉納書籍はその一部。
- ▶ 元禄十五年（1702）、講学所付属の図書館として建設され、講学所の蔵書に奉納書籍を合わせて基礎が確立、社家のうち若手で文庫が運営（虫干や書籍の購入）された。
- ▶ 明治九年（1876）、三手文庫が廃せられ、今井似閑奉納書籍は上賀茂神社へ納められ、系図ほか一部の書籍は系図保存会（同族会の前身）により保存されたほかは、書林に売却された。
- ▶ 設立当初は160部、廃止時は408部。神道・儒教関係、和歌集が多い。『賀茂系図』も三手文庫の一部。

本講演のねらいと目次

- ▶ 本財団所蔵文書目録の作成、翻刻およびデジタル化、これらを用いた研究を行ってきた。
 - ✓ 歴史資料・地域資料のデジタルアーカイブ化を検討する際の参考
 - ✓ デジタルアーカイブとMLA連携の重要性
- 賀茂系図について
 - 『賀茂祢宜神主系図』デジタル化および公開事業
 - 賀茂系図データベースと外部資料との連携、研究例
 - おわりに代えて - 歴史・地域資料のデジタルアーカイブとMLA連携

5

賀茂系図とは

- ▶ 賀茂祢宜神主系図は上賀茂の社家に伝襲されてきた系統的な大系図の一群である。いずれも堅紙を用い、これに墨線にて横目十四乃至十五の方眼を引き、系図を写しているが、次のとおり三大別することができる（賀茂系図説明書）。
 - 古系図 一巻
 - 鎌倉時代の書写。天長二年（825）卒去の男床以下、在樹までは事項的に記し、在実以下は横系図。大体文永年間（十三世紀中頃）以前までだが室町時代初期頃まで書継ぎがある。「鴨御祖社系図」の記載がある。
 - 中古系図 二巻
 - 江戸時代初期写。上巻は古系図の増補。下巻は家門一流系図。
 - 新古系図 系図十二巻・凡例一卷
 - 宝永年間（18世紀初）成立。系図・口宣案・座席記等を用い、賀茂清茂らにより再吟味されたもの。明治初期まで書継ぎがある。

家門一流：鎌倉時代中期頃より十六流に分かれ、実父の名を継いだ。

（氏・兼・平・宗・重・幸・季・保・弘・顕・俊・直・成・久・清・能）

7

賀茂系図について

賀茂系図とは

- ▶ 鎌倉時代以来、賀茂社に属した氏人たちは境内六郷の土地を共有し、年齢にしたがって順次これを割り変えていく往来田制度をつくり、神社を維持してきた。**賀茂社の氏人系図は、共有地割り変えのための基礎台帳として、厳密に管理され、長く戸籍の役割を果たした（大山 2003）。**
- ▶ 賀茂氏の系図は**ウジの系図**でありイエの系図ではない（藤木 2005）。
- ▶ 一般に系図は出自の正当性を主張しえない場合、自己を優位とするため事実の改竄や捏造が意図的になされることがあり、史料としての信憑性が乏しいとされる。しかし、**賀茂系図は、多数の氏人の監視により自家のみに通用する独善的な記述は許されなかったと考えられるため、信頼のおける史料として位置づけられている（嵯峨井 2013）。**

氏人：氏姓の一である賀茂県主を帯びる男系子孫のうち、社職に就いていない者。
多数の：社司21人及び氏人294人で、他社に比してとびぬけて多く、伊勢二宮の総数171名がこれにつぐ（菟田 1984, 座田家旧蔵書目録解説「天保四年社家次第」の項）。

8

③ 朝廷位官職歴
日付・位官職名・上卿・職事名
賞罰歴
神主在任中詳細事項

② 社家位官職歴
日付・位官職名・上卿・職事名
養子関係
卒年・卒年齢

① 名前
幼名・改名歴
極位・社職名
任官歴

保起 ①
保考 ②

口宣案の内容を時系列で系図に転記

晃頭 完頭 志頭

口宣案

個人蔵

『賀茂祢宜神主系図』 デジタル化及び公開事業

公益財団法人図書館振興財団平成25年度提案型助成事業

賀茂系図データベース事業

- ▶ 賀茂系図は明治以前の賀茂社氏人の事跡を辿ることができる重要な史料
- ▶ 多数の氏人の監視により自家のみに通用する独善的な記述は許されなかったと考えられるため信頼のおける史料として位置づけられる（嵯峨井 2013）。
 - 賀茂系図原本の全てを閲覧できる機会は年一回曝涼のほかはない。
 - 刊行本（神道大系編纂会 1984）は極官位・卒年月日・卒年齢・改名歴以外は省略
 - デジタル複写（CD, DVD収録）版はファイルサイズが重く検索機能がない
 - 人物の特定は手作業に頼るほかなく、利活用に不便
- ✓ 系図の画像および記載事項をデジタル化し、webを通じて公開することにより、いつでも・誰でも賀茂系図を閲覧できる機会を提供し、摩滅・災害等から系図史料の保全を図る
- ✓ 人名や官職に対してデータベースを構築し、検索機能を付すことで、該当者の事跡や官職名からの実名特定が瞬時にでき、データベースを用いた研究により、近世の上賀茂社社家の動向に対する新たな知見が得られる

13

賀茂系図DB構築の意義

- ▶ 対象人物と事蹟特定の迅速化
 - 上賀茂社に関する文書・古記録は多数残されており、これらに記載された氏人の事蹟は賀茂系図が参照される。ただし、新古系図記載人物は4000人を越える。
 - 賀茂系図原本の全てを閲覧できる機会は、同族会の年間行事として行われている曝涼のほかにはほとんどない。系図原本の中には30mを越える巻物がある。
 - 『神道大系』：卒去時の位官職、卒年月日・年齢、改名歴以外は省略
 - デジタル複写：画像を順に目で追って検索するほかなく、名乗のみで記載された場合、特定は困難を極める
- ▶ 社家の官位運用実態の解明
 - 公家・武家官位の運用基準の整理は進んでいるが、社家のそれは十分でない。
 - 賀茂社は従来より賀茂伝奏が置かれており、吉田家の支配を受けていない。
- ▶ 人物データベースの標準的プロトコルの検討
 - 官職の任官や解官、叙位といった構造の中で理解されてはじめて意味をもつものであって、本文テキストの語句検索では明らかにできない（五島 2001）。
 - 人物に関するアーカイブを充実させるためには、系図・系譜についての情報は不可欠。系図を管理するアプリケーション、データベース、データ交換のための標準プロトコルの確立がますます重要（相田 2001）。

14

賀茂系図データベース事業

- ▶ 系図の全文検索システムの構築および系図画像へのリンク
山本・芝（2008）が構築した賀茂系図データベースを実装
- ▶ 新古系図第一巻のデジタル高精度撮影
賀茂氏十六流のうち、氏の流419名（全巻の公開に向け、事業の継続を計画）
- ▶ 他所蔵史料のデジタルアーカイブと横断検索システムの構築
馬の博物館蔵『足汰競馬会雑誌』の画像および翻刻をデジタル化し、人名を系図データベースに接続
嘉永六年（1853）～文久二（1862）の足汰式および賀茂競馬の乗尻および所役が記載
- ▶ 自治体史・歴史資料検索・閲覧システムの横断検索による相乗効果の検証
ユーザーズ調査、データベースを活用した研究の推進
- ▶ 系図および系図デジタルアーカイブに対する周知・啓蒙活動
検索システムデモ、講演会開催、事業概要と実証実験結果の発表
- ▶ クラウドファンディング（Crowdfunding）を通じた事業継続資金の獲得
web等を通じ一般に広く寄付を呼びかけ

15

系図撮影風景



2014.02.08 於上賀茂神社庁屋 16

検索結果ページ: 賀茂系図で検索

検索対象: 賀茂系図(新古系図)

検索結果一覧:

No	本文	刊本	見出し
1	位: 従五位上改名: 辰三郎実父: 保富子供: 保考 養子: 為保在之婚後継縁賀茂位: 従五位下	賀茂系図(新古系図)	(12) 保起
2	原本へ個人ID: 12173神道大系記載頁	賀茂系図(新古系図)	(12) 保考
3	官人: 一條家侍、書博士改名: 午之介実父: 保考 子供: 武之介、保誠、賀保賀茂位: 従五位下	賀茂系図(新古系図)	(12) 保胡保
4	歳極位: 正四位下改名: 匡保、源次郎実父: 保考 子供: 恭保、保親賀茂位: 従五位下(賀茂位)	賀茂系図(新古系図)	(12) 保匡保
5	8月17日享年: 5歳改名: 八十之介実父: 保考	賀茂系図(新古系図)	(12) 保珍保
6	歳極位: 従四位下改名: 松千代、奉議実父: 保考 子供: 保保、熊保、可保、方保	賀茂系図(新古系図)	(12) 保千保

キーワード検索

検索対象資料

検索対象

AND OR

検索 クリア

賀茂系図(新古系図) 本文閲覧 キーワード検索 年表検索

足汰競馬会雑誌 本文閲覧 キーワード検索

Copyright © 2013 TRC-ADEAC Inc.

検索結果ページ: 1 - 11 / 11 件

検索結果一覧:

No	刊本	元号年	西暦年	月	日	刊本	見出し
1	賀茂系図(新古系図)	享保11年	1726	9月	4日	賀茂祢宜神主系図	仲直
2	賀茂系図(新古系図)	元文4年	1739	12月	25日	賀茂祢宜神主系図	氏達
3	賀茂系図(新古系図)	明和7年	1770	5月	11日	賀茂祢宜神主系図	保考 甲斐守(賀茂官)
4	賀茂系図(新古系図)	安永3年	1774	4月	17日	賀茂祢宜神主系図	保考 甲斐守(地下官)
5	賀茂系図(新古系図)	安永8年	1779	3月	22日	賀茂祢宜神主系図	保考 甲斐守(賀茂官)
6	賀茂系図(新古系図)	安永8年	1779	9月	29日	賀茂祢宜神主系図	保考 甲斐守(地下官)

年表検索

キーワードで検索できます。

検索対象資料

甲斐守

1701 年 ~ 1800 年 (西暦)

検索 クリア

本文へ(p1)

本文へ(p1)

本文へ(p1)

本文へ(p1)

18

詳細情報ページ: 原本へ

個人ID: 12173

神道大系記載頁: 506

DVD: 5

世代: 15世代

卒年月日: 文化14年(1817)4月19日

享年: 69歳

極位: 正四位下

地下官人: 一條家諸大夫、書博士

改名: 房千代、房之介

実父: 保起

子供: 胡保、匡保、珍保、干保、伊保

養子: 為世保之養子相継家督

賀茂位: 従五位下(賀茂位、宝曆十三年(1763)3月24日)、従五位上(賀茂位、安永五年(1776)3月20日)、正五位下(賀茂位、天明元年(1781)12月19日)、従四位下(賀茂位、寛政四年(1792)1月21日)、従四位上(賀茂位、寛政十二年(1800)12月22日)、正四位下(賀茂位、26日)

賀茂官: 甲斐守(賀茂官、明和七年(1770)5月11日)、藤原介(賀茂官、安永四年(1775)閏12月11日)、甲斐守(賀茂官、安永八年(1779)3月22日)

朝廷位: 従六位下(朝廷位、明和四年(1767)2月28日)、正六位下(朝廷位、明和六年(1769)5月20日)、従五位下(朝廷位、安永三年(1774)4月17日)、従五位上(朝廷位、安永九年(1780)4月18日)、正五位下(朝廷位、天明五年(1785)12月26日)、従四位下(朝廷位、寛政三年(1791)2月18日)、従四位上(朝廷位、寛政九年(1797)2月7日)、正四位下(朝廷位、寛政十二年(1800)5月25日)

朝廷官: 中務少輔(朝廷官、明和四年(1767)2月28日)、大舍人頭(朝廷官、寛政九年(1797)10月30日)、木工権頭(朝廷官、寛政十一年(1799)8月24日)、内内介(朝廷官、明和四年(1767)9月24日)、甲斐守(朝廷官、安永三年(1774)4月17日)、大炊権頭(朝廷官、明和六年(1769)5月20日)、左京亮(朝廷官、安永四年(1775)12月2日)、甲斐守(朝廷官、安永八年(1779)9月29日)、治部大輔(朝廷官、享和三年(1803)1月17日)

朝廷職: 一條家侍(朝廷職、明和四年(1767)2月28日)、一條家諸大夫(朝廷職、明和六年(1769)5月20日)、書博士(朝廷職、安永八年(1779)10月9日)

検索結果ページ: 1 - 6 / 6 件

検索結果一覧:

No	刊本	元号年	西暦年	月	日	刊本	見出し
1	賀茂系図(新古系図)	享保11年	1726	9月	4日	賀茂祢宜神主系図	仲直
2	賀茂系図(新古系図)	元文4年	1739	12月	25日	賀茂祢宜神主系図	氏達
3	賀茂系図(新古系図)	明和7年	1770	5月	11日	賀茂祢宜神主系図	保考 甲斐守(賀茂官)
4	賀茂系図(新古系図)	安永3年	1774	4月	17日	賀茂祢宜神主系図	保考 甲斐守(地下官)
5	賀茂系図(新古系図)	安永8年	1779	3月	22日	賀茂祢宜神主系図	保考 甲斐守(賀茂官)
6	賀茂系図(新古系図)	安永8年	1779	9月	29日	賀茂祢宜神主系図	保考 甲斐守(地下官)

年表検索

キーワードで検索できます。

検索対象資料

甲斐守

1701 年 ~ 1800 年 (西暦)

検索 クリア

本文へ(p1)

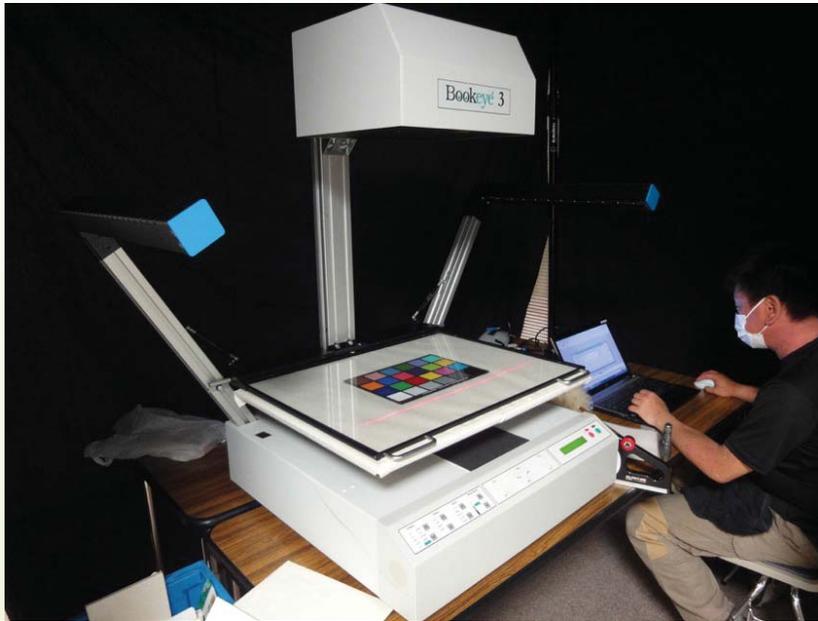
本文へ(p1)

本文へ(p1)

本文へ(p1)

馬の博物館史料撮影風景

2014.07.13 於馬の博物館



出雲御庄	淡路御庄	宮川御庄	舟木御庄	腰長御庄	福田御庄	土田御庄	安志御庄	金津御庄	倭文御庄	嘉永六年
下上	下々	中下	中下	中下	中下	下上	中下	上々	上々	晴天
十	十	八	八	七	七	九	六	一	一	朔日
鴨河原毛	河原毛	鹿毛	栗毛	黒鹿毛	紅鹿毛	葦毛	同毛	同毛	青毛	期日
志直	重武	保暎	董季	清基	保文	季快	学季	同季	往久	乘尻
要人大夫清資	左織大夫重教	伊豫介元清	捨松大夫氏主	能登守保運	織之介大夫季元	米乙大夫季潔	延次郎大夫厚直	石見守珍頭	梅ノ二百郎	馬主

元号/西暦	嘉永六 1853	嘉永七 1854	安政二 1855	安政三 1856	安政四 1857	安政五 1858	安政六 1859	万延元 1860	文久元 1861	文久二 1862
一番	勝負	勝	勝	勝	勝	勝	勝	勝	勝	勝
	名乗	下野介	因幡介	右近	宮内大夫	伊勢守	雅楽大夫	因幡介	周助介	因幡介
	名前	等願	星願	匡願	季昌	季盛	季忠	星願	氏直	星願
	代乗	伊勢守	采女大夫	源大夫	助彦大夫		富次郎大夫	直之進大夫	右京之進大夫	
	名前	季盛	成久	重直	季春		顯徳	氏生	清永	
	勝負									
二番	勝負	持	持	持	持	持	持	持	持	持
	名乗	佳太郎大夫	平人大夫	内膳大夫	大膳之介大夫	他五郎大夫	左京之進大夫	左京之進大夫	内膳大夫	貞吉大夫
	名前	清親	年願	幾季	永季	義清	季時	季時	幾季	永季
	代乗	肥前介	造酒大夫	富次郎大夫	富次郎大夫	主計之介大夫	富次郎大夫	主計之介大夫		
	名前	恭保	休願	顯徳	顯徳	定清	顯徳	定清		
	勝負									

『足汰競馬会雜記』 (馬の博物館蔵)

出来事

一番 勝負 乗尻名 馬主

庄園 評価 五日番 毛色 馬所 (担当社司) 乗尻 馬主

図書館と歴史・地域資料をとりまく状況

- ▶ 図書館にある歴史・地域資料は貴重書扱いになっているものが多い。図書館に足を運ぶ必要がある、運ばないと何があるかわからない。複写が禁止されている。閲覧不可、もしくは所蔵者の許可が必要となっている。
- ▶ 情報技術や歴史情報学の進展
 - デジタルアーカイブ化とオープンデータ化
 - 歴史的典籍NW事業（国文学研究資料館）
 - 古典籍のデータ化
 - くずし字のOCR処理（凸版印刷）
 - みんなで翻刻（京都大学古地震研究所）
 - クラウドファンディングによる資料の保存資金の獲得
 - 2万枚のクラシックSPレコード（東京藝術大学）
 - 映画パンフレット・台本（松竹大谷図書館）
- ➡ 資料は使われてこそ存在意義がある
- ➡ データを加工し、意味のある情報を拾い上げる作業が必要
- ➡ 情報と情報、人と人をつなぐ役割が求められている

29

おわりに

- ▶ 歴史・地域資料をデジタルアーカイブ化し、データを加工することで、意味のある情報を拾い上げることができる。
- ▶ 資料は使われてこそ存在意義があり、積極的な公開を期待。
 - 所蔵資料書誌の公開とデジタルアーカイブ化、さらにオープンデータ・加工可能なデジタルデータへ
 - 技術やツール・集合知・外部資金を活用すれば、金銭的・人的コストは大幅に減らすことができる
 - 図書館ならではのコレクション・データベースなどは強みに
 - 情報と情報、人と人をつなぐ役割

30